

Dhillon Marty Foundation
Nishiazabu 2-17-15, M's 301, Minato-Ku 106-0031, Tokyo, Japan
Tel +81-50-1491-1641; +81-80-1088-5182; +1-650-529-4098
office@dhillonmarty.org
www.dhillonmarty.org



2013年11月12日
プレス・リリース

Dhillon Marty Foundation 方丈記: 移動式パビリオン・デザインコンペティション

お問い合わせ

Sonia Dhillon-Marty, 会長, デイロン・マーティ財団
sonia@dhillonmarty.org
+1-650-529-4098 or +81-50-1491-1641

「2013年コミュニティ・ウィーク: 素材の均衡」の一環として、本財団は東京大学建築学科隈研吾研究室と共にデザイン・コンペティションを開催しました。コンペティションの目標は、海外のアーティスト、また学者が日本を巡りつつ制作活動が可能な移動式パビリオンをデザインすることでした。

「デイロン・マーティ方丈記」: 移動式パビリオン・プロジェクトはアートとデザインを社会的及び環境的な問題と結びつけるための段階であり、第一号は2014年に完成する予定です。2015年より、デイロン・マーティ財団は海外の学者を日本へ招き、出来上がったパビリオンを実際に御利用いただきながら、日本の各地を巡り、アート制作を通して日本の文化を世界に発信することを試みます。本財団の期待は、移動式アトリエを使用することにより、世界中のアーティストと日本全国の人々を結びつけることです。

インタビュー可能な方々(連絡先はお問い合わせください)

農林水産大臣 林芳正; 東京大学教授 隈研吾; デイロン・マーティ財団創業者・会長 ソニア・デイロン・マーティ; ロード・アイランドデザイン学院准教授 シェリ・フルティニアー; 東京大学名誉教授 養老孟司; 在日コロンビア大使 パトリシア・カルデナス

ミッション

デザインチームは東京大学にて2日間に渡り、学者・アーティストに利用していただく移動式パビリオンのデザインを考案しました。参加者は、パビリオンをデザインする上で、利用する方々が現地の人々と社会的・環境的な問題をどのような形で結び付けていくか考量しました。デザインの考案には次のような条件がありました: 2020



Image 001, 002: 玉上貴人チーム: “Beauty賞”



Image 003, 004: Erin Moore チーム: “素材の均衡賞”

年オリンピック大会、東日本大震災、伝統的な神輿、仏教の教えによる「方丈記」

チーム

ディロン・マーティ財団は東京大学をはじめ、日本大学、スタンフォード大学(アメリカ)、オレゴン大学(アメリカ)、アリゾナ大学(アメリカ)、アテネ国立工学大学(ギリシア)から8名の教員を招聘しました。デザインチームには日本、アメリカ、イギリス、ギリシア、中国、韓国、オランダ、オーストラリアなど(合計16カ国・10大学)の建築大学生が参加しました。

デザインを考える上で、チームは東京大学の佐藤淳准教と佐藤先生のスタッフから構造設計のアドバイスを受けました。その他、アメリカ・ロード・アイランド・デザイン学院のシェリ・フルティニア准教授から風景に関するアドバイスも受けました。また、アート及び文化的歴史に関するアドバイスはオレゴン大学・Jordan Schnitzer 美術館の東洋美術キュレーター、アン・ローズ・北川氏が担当しておりました。

チーム・リーダ:スタンフォード大学、ビバリー・チョウ講師(Bach Architecture);アテネ国立工学大学、バシリス・ガニアットサス教授;オレゴン大学、エリン・ムアー助教授(FLOAT);東京大学、中村航助教授(隈研究室);東京大学、小淵祐介准教授(G30);日本大学、玉上貴人講師;アリゾナ大学、ベス・ウェインステイン准教授。

Honors

デザイン・コンペティションの審査員:東京大学 隈研吾教授、女優及びアーティスト 結城美栄子、山口大学 林裕子准教授、東京大学名誉教授 養老孟司、ディロン・マーティ財団会長 ソニア・ディロン・マーティ、在日アルバニア大使 ブジャール・ディエダ、在日コロンビア大使 パトリシア・カルデナス、在日ジブチー大使 アフメッド・アライティ・アリ、在日パレスチナ大使 ワリド・シラム、スチューアート・コンベルバハ大使。

「Beauty大賞」は養老孟司名誉教授により、日本大学の玉上貴人講師に渡されました。チームメンバー:サリナ・ダ・コスタ・ゴメス、佐伯新太郎、Zhang Ye。「シチズン大賞」は大使の方々により、スタンフォード大学のビバリー・チョウ講師に渡されました。チームメンバー:落合ハルシ、Ma Sushuang、Zhang Shiqi。最後に、「素材の均衡」賞は東京大学 隈研吾教授からオレゴン大学のエリン・ムアー助教授に渡されました。チームメンバー:Iosif Dakaronias-Marina、ジェニー・カン、Shin Yeonsang。

(写真の解像度に関しましてはご相談ください)



Image 005, 007: Beverly Choe チーム: "シチズン賞"



Image 008, 009: 中村航チーム



Image 010: マンセラ、ミランダ、スロムプロローチーム

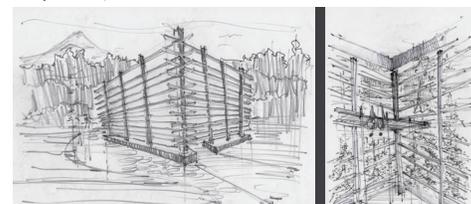


Image 010a: ガニアットサス・チーム



Image 017: ビバリー・チョウ講師による発表



Image 015: 東京大学にてワークショップ

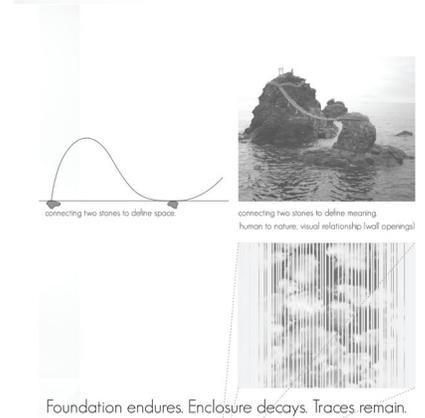


Image 011, 012: Prager, Brosh, 西田チーム



Image 018: スタマティア・スロムロプロー(学生)が隈研吾教授に模型を説明する



Image 016: 東京大学にてワークショップ

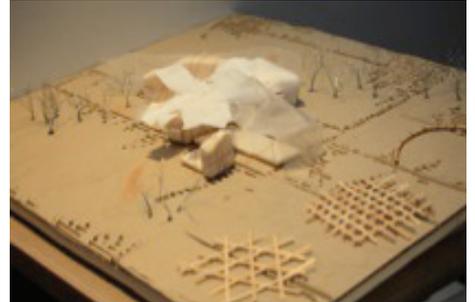


Image 013: ベス・ウェンティンチーム



Image 021: Dhillon Marty Hojoki: 移動式パビリオン・コンペティションの審査員



Image 025: 参加者の集合写真